

## 小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護の自己評価票

( 網掛け部分は外部評価の調査項目 )

( 別紙 3 )

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	理念に基づく運営			
	1. 理念の共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中に根付いたグループホームとして、独自の理念を作り実践している。		地域から信頼され、協力していただけるホームを確立していく。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員が理念を理解し実践出来るよう、朝のミーティング時に全員で唱和している。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居時、利用者・家族に説明している。地域の方の来訪やボランティアの方々にもホームの方針を理解してもらうように工夫している。		
	2. 地域との支え合い			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	園長の地元なので、地域の方々との交流は出来ている。		恒例の夏まつりと、クリスマス会は地元並びに日頃お世話になっている方々へ案内状を出し、沢山の来園者を迎えている。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	入居者は、地域の一員として行事や清掃ボランティアなどに積極的に参加している。		氏神様清掃・バス停清掃や公民館行事(敬老会など)に参加している。
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方の介護に関する相談も受けており、気軽に立ち寄ってもらっている。		公民館にチラシを貼らせてもらっている。
	3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全体がそれぞれの立場で作成している。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に関催し、問題点や今後の課題について話し合い、結果報告をしている。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護保険課には、指導を受け協力して頂いている。連携している。		今後地域包括支援センターと連携し、指導を受けたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会に職員は参加し、カンファレンス時に報告している。家族にも報告している。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会には参加しているが、かつて一度も虐待など無く、今後もあり得ない。		
	4. 理念を実践するための体制			
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居希望者とご家族には充分説明し、納得して頂いた上で契約を結んでいる。		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者とは個別対応し、話し合っている。又、相談箱を設置し運営に反映している。		ご意見箱を設置している。
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月園だよりと共に報告し、安心して頂いている。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来園時には個別対応で接客している。又、相談箱を設置し運営に反映している。		ご意見箱を設置している。
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常に職員会議や月1回のカンファレンス時に機会を設けている。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の要望に沿えるローテーションを組む努力をしている。		入居者が希望する時に入浴出来るよう24時間風呂の設置をし、職員のローテーションを組んでいる。
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は原則的にはしないようにしている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	5. 人材の育成と支援			
19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用時に性別、年齢制限ではない。 職員は特技や能力を發揮できるようバックアップし、頑張ってもらっている。		
20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	市や県主催の人権教育の研修会に参加している。		
21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のレベルに応じた研修に参加している。 毎月契約している接遇講師による個人指導も行っている。		開園以来、今現在も毎月接遇講師による教育を受けている。
22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム協議会の勉強会に参加し、サービスの質を向上させている。		
23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	接遇講師や施設長がスーパーバイザーとして、職員の相談にのっている。		ストレスのない職場作りを目指していきたい。
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年間計画・月計画・週間計画を立てる際、職員全員で意見を出し合い取り組んでいる。		
	安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
	1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居希望者や家族からの要望は最優先し、アセスメントをしっかり行うことで信頼関係が早くできている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居させなければならない家族の不安や要望を解決出来るよう努力している。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	優先順位を見極め、必要とする支援をしっかりと提供している。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	昨年からデイサービス夏吉の里を開設したので、ご招待しながら園の雰囲気に慣れて頂いている。		デイサービスへのご招待は、待機者の方々やご家族には好評で、職員とも顔馴染みになり安心を与えられている。
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	個々の残存機能を活かせる場の提供をしている。特に料理の準備や味付けなど教えてもらうことも多くある。		
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は入居者の日々の暮らしや健康管理を連絡すると共に行事への参加を呼びかけている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	支援している。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	常時、来園された皆様方を歓迎し、うれしさを共有できている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	共有スペースへ誘導し、スタッフが常に気配りをし、穏やかな安全な暮らしを提供している。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後も連絡を取り合い、行事へのお誘いをしている。又、参加して下さっている。		
	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
	1. 一人ひとりの把握			
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は常に入居者を思いやり、気持ちを尊重し、本人の意思に添うよう努力している。		
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	各居室には、長年親しんだ物を使って頂いている。アルバムを見ながら皆、話ができています。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	現状を把握し、個々に応じた支援をしている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画の作成は本人、家族、職員の要望や意見を反映している。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者の状態に変化が生じた時は、その都度見直しをし家族に報告している。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に記入し、職員全員で情報を共有し、入居者の支援をしている。		今年より記録用紙を変更し、より正確な情報を残していく。
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	昨年からデイサービスを併設し、多様性ができている。		
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の公共機関やボランティアなどが支援して下さり、安心安全を提供できている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の要求は最大限可能としているが、難しいところは他の事業所の協力などを得ている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターと協働したいと希望している。		運営推進会議の委員として参加依頼したが、拒否されている。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人と家族の希望のもと、かかりつけ医に受診し、その都度報告している。		4月より在宅支援診療を利用することとなり、受診の負担を軽減する。
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神科の受診は、ご家族と十分話し合った上で受診し、投薬などその都度報告している。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員による健康管理ができています。		
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	家族と共に病院の主治医や、ソーシャルワーカーと話し合い方針を立てている。		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今までは経験していないが、常々話題の中で相互の意思の確認をし対応している。		
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末ケアに対応できるように職員全員で勉強会などを行っている。又、家族にも説明し理解して頂いている。		
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退居の際の相談に応じ適切なアドバイスを行うと共に、移動先への情報提供は詳しく渡している。		
	その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
	1. その人らしい暮らしの支援			
	(1) 一人ひとりの尊重			
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報を守るため、守秘義務を守っている。退職者にも徹底している。		
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の気持ちを大事にし、自己決定できるよう支援している。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の体調や気分を察し、自由に穏やかな生活を提供できている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	洋裁の得意な職員が体型に合わせて手作りしたり、理美容は本人家族の希望に合わせている。		職員の特技を活かし、裁縫や散髪などを行うことができています。
56	食事を楽しむことのできる支援 重食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	残存機能の活用として、準備から片付け又、洗濯物の干し入れなど共に行っている。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の希望、及び家族の了承のうえ、提供できている。		昨年より全館禁煙となりました。
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者のプライドを守りつつ支援できている。 健康管理票に記入し継続支援ができています。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	24時間対応型風呂で、希望する時間に入浴できている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝時間は自由で、寝れない人には夜勤者がお茶を飲んだり会話したりで安心感を与えられている。		
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	各人に合わせた役割分担がある。無理強いせず、楽しみながらできるよう支援している。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時や買い出し日には、本人に代金を支払ってもらっている。能力のない方が多いが、スタッフ補助のもと行えている。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	遠出はできなくても、園庭の散歩や中庭のティータイムなど戸外で過ごすことが多い。		天候がよい日は、予定になくても、体調の良い方を戸外に連れ出し喜んでもらっている。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	帰宅願望のある方は、自宅へ連れていったり、知り合いの葬儀の出席や、お祝事への外出支援を行っている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の子機を使用して、家族に元気な声を聞いて頂いている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	園は24時間来園可能で、気軽に行えている。 遠方の方は同室に宿泊して頂いている。		H19.11大阪よりお見舞いに来られた方に気持ちよく宿泊して頂き感謝された。布団も用意できている。
	(4) 安心と安全を支える支援			
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束禁止厳守されている。 職員全体が理解し、実行できている。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外鍵はかけていない。本人の行動に、職員が合わせて完全確保している。		徘徊者1名に対してセコムの装着を実施している。家族了承済み。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者の行動パターンを把握し、個別対応できている。		〃
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	鍵のかかる所や、手の届かない所に保管している。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に安全確保の為に知識を学び報告し合って防止に取り組んでいる。		
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急マニュアルを作成し、即対応できるように日頃から話し合い講習会を行っている。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急対応講習会の時、夜間を想定した避難訓練を毎月実施している。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	事故や急変に対するリスクについて家族と相談し、連絡体制などをチェックしている。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	入居者の方々の健康管理はできており、情報の共有も万全なので即対応できる。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者の病状を把握し、効能も理解しているので服薬管理は安全である。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェックは必ず行い、記録している。水分量チェックや予防の運動なるべく薬を使用しない支援をしている。		還元水機の利用で効果を得ている。
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアが守られている。 義歯の清潔保持もできている。		月4回の歯科口腔介護のサービスは確実な効果がでている。
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	調理師による食事メニューは、バランスがとれ、低カロリーで満腹感を味わえる。 個人対応で支援ができています。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防の勉強会を月1回行っている。いつでも対応できるよう徹底している。		外来者にもお願いし、感染予防に務めている。今年は一人も風邪の方がいなかった。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器や器具は熱湯消毒し、還元水の酸性水での除菌も行う。		夜勤者が毎日冷蔵庫内を酢で拭いている。
	1. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	園庭は地域のボランティアが手入れをして下さり、入居者とも交流しながら自由に出入りして下さっている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	平屋造りで共有スペースを中央に広く取って開放感があり。居室は畳敷きでくつろげると好評です。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広々とした共有スペースは畳とコタツでゆっくりとくつろげるようになっている。ほとんどの入居者は寝る以外は居間で過ごされている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳敷き居室は、入居者の使い慣れた物を持ち込んでおり、家族と一緒にくつろげている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	時間ごとの換気と常時設定している空気清浄機2台で園内に空気のおよみがないようにしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	要所に手すりを設置し、バリアフリーの園内外は入居者の安全を守られている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者一人ひとりの状態を職員が把握し、その人にあつた対応をしている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	1.2棟の中央にテラスを作り、手作りのテーブル3台を設置している。天気の良い日はいつもお茶をのみレクレーションを行っている。		入口のブロック塀に書いた絵は2年目になりますが、ご近所でも評判が良くトレードマークになっています。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

入居者も高齢となり思うように出かけられない、体調に応じて、個別の外出も試みている。四季の変化を肌で感じて頂きたいと願っている。

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
100	職員は、生き活きと働けている		ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

デイサービス併設に伴い、入居者の方々の遊び場として、気分転換ができるようになりました。

そこでの幼なじみやかつての知り合いの方とのふれ合いは、脳の活性化となり、意欲の向上に役立つようです。

また家族会から夜間の往診希望があり、4月より在宅診療を開始することになりました。

急変時の対応や24時間管理ができることで、終末ケアの受け入れ体制の充実、またホームドクターによる診察は安心感を提供できるなど、メリットが多く、園としても大きな支援となることを期待しているところです。